

郷土の歴史 365

八潮の地名考

伊勢野の地名
その壺



伊勢野 現八潮市大字伊勢野の地名。伊勢野は、古利根川右岸の沖積地に位置し、自然堤防上に近世集落が発展する。地名の起立は、大河戸御厨の荘園年貢を納める蔵跡が有ったことに因むと伝える(八潮の民俗資料二)。また『新編武蔵風土記稿』では、「里正金二郎が祖先、伊勢野松坂より當村に來り、開墾せしを以て村名とせし」と云、されど其詳なることを得ず」と記す。金二郎の祖先とは、浅田仁右衛門(1597~1651)の事で、『浅田氏継図大略』(天保7

伊勢野村 近世初期から明治22年までの村名。伊勢野の支配は、天正18年(1590)から徳川領で代官支配地。寛文2年(1662)から明治維新まで旗本森川下総守領。そのうち御料所として「御用御立野」五畝歩は代官支配地。検地は寛永4年(1627)で村高一八八石七斗六升八合。反別三一町六畝二五歩、内田が二町二反三畝一八歩の水田優位の村落。天保6年(1835)次の家数三四軒、人別一八五人で有った(八条領村鑑)。河川用排水路は、八条用水路が八四間、古利根川中川筋灌漑組合(一八八石余)が七二間等を管轄。外に眞言宗光明寺と釈迦堂(眞言宗)があった。19世紀初頭の神社は、村の鎮守天神社と村民持の神明社があった。神明社は、明治12年(1879)『社寺明細帳』では「往古神明社アリシカイツノ頃カ当社ヘ合祭シタリト云伝フ」と記されるの

で、その天神社へ合祭した。安政3年(1855)に伊勢野村出身の焼瓦渡世職音五郎が、大瀬村の申ノ切れ所と成ノ切れ所の間(大瀬運動公園)で、焼瓦製造業を開業した。音五郎は、大瀬半五郎(関東綱五郎)の父親である。明治2年(1869)小菅県、同4年埼玉県、同12年(1879)南埼玉郡伊勢野村、同22年に南埼玉郡潮止村の大字名となり現在に至る。同17年から七か村連合の伊勢野村連合戸長役場が、光明寺におかれ、その後潮止村役場として、光明寺本堂・庫裡が使用された。なお光明寺は、明治43年に大瀬宝光寺へ合寺した。同9年頃の田畑は、田が二町六反八畝一五歩、畑が九町二反三畝五歩、宅地が四反九畝六歩、農地

が一畝六歩、戸数三五戸、人口二〇人。物産は、米が三五〇石、大麦五七石、小麦六石、大豆八石、茄子九〇〇貫目、葱二千貫目などを「東京府下千住宿へ輸送」(明治8年の「村誌取調書上」)売られていた。音五郎焼瓦渡世業「場所絵図写」(浅田家代々記録「天保7年」)

文芸欄

呉美代選

市民の皆さんの投稿をお待ちしています。

【応募先】〒340-8588八潮市中央一―二―

八潮市役所広聴広報課広聴広報係

詩

短歌

みどり橋まで 伊草 都築紀子

犬を連れ、用水路に沿って歩く
街のチャイムが鳴っている
日没がおそくなり

桜並木の枝々も紅を帯びてきた
気温とともに蘇ってくる匂い
犬が私をせき立てる

遊歩道がつくられてから
水路は葦や水草を失い
廃液を飲んだ水は動かない
足早に行く人
なじんだ顔

見かけなくなった顔もふとよぎる
生け垣の奥から飼犬が吠え立てる
歩数計が一日のカウントを刻んだ
あたたかな風が私の背を押したが
逆からの冷気に頬を打たれた
街の音が遠ざかる

ハワイ沖の惨事ものはクラブ振る
斯かる御仁に国を委ねつ

南川崎 伊本 則子

春立ちて黒き土より花の芽の
見えかくれして心ときめく

鶴ヶ曾根 齊藤 道子

残雪を蹴散らしてゆく子どもらの
通学路にも朝日輝く

南後谷 杉村 セツ

暮れなずむ庭にたたずみ亡き友の
やさしさ偲び在りし日思ふ

混浴の露天風呂に浸りあて
友と笑ひきつた光の中

偶かに積りし雪をかき集め
ミニかまぐらで子らと楽しむ

中央一 猪瀬 利助

一人居の寂しさに堪え歌詠むと
遺影の妻は笑みを浮かべる

柳之宮 平沼 良子

陽に溶けし雪の屋根より落つる音
ふと万両の赤き実光る

大曾根 小倉 末子

世事はなれ宿で初日を拝むわれ
湧き出づる湯に身を委ねつつ

南後谷 園田 博枝

えひめ丸未来の宝海の底
生きて帰れとひたすら祈る

二丁目 田中 祐子

亡き姑の麻痺した手の冷たさを
朝の厨にふと思ひうたれ

木曾根 高谷 多門

干し鰯を塗る熱燗くみ交わす
夢のなかなる故郷の亡き友

二丁目 平井 石龍

餅の微削りつ語る嬉五十
貧富なく雪がどの家も丸くする

中央一 山角 微陽

冬木の芽みな天をさす新世紀
ふと万両の赤き実光る

八條 杉村 知香

リストラに職なき人の春遠く
奥多摩に眠れる吾娘のひな飾る

八潮七 大島 君枝

冬桜一人の刻もまた楽し
やつたよと受験の孫の声はずむ

大曾根 小倉 花子

雪かきや声をかけ合う隣り
雪かきや声をかけ合う隣り

八潮七 茂村 つ留

急ぎゆく家路の子等や日足伸ぶ
枯草を払えば萌ゆる若緑

八潮七 石井 忠枝

八潮七 小倉 孝義

早春や成就の鐘の連着寺
霜枯の畑に野鳥の餌をさがす

緑町五 藤波 ふみ

霜枯の畑に野鳥の餌をさがす
杉林蘭玉のごとく驚眠る

八潮六 藤崎 政子

大雪に帰宅せぬ子を寝ずに待ち
江戸川に残る渡し場水温む

大曾根 小倉 義孝

春を呼ぶタンチョウ鶴の舞踏会
子猫野に捨てられており母子草

鶴ヶ曾根 平本 愛子

初春の雪とけやらぬ田や畑
臘梅のふれがたき香に顔をよせ

新雪や墓地に獣の足の跡
新雪や墓地に獣の足の跡

新雪や墓地に獣の足の跡
新雪や墓地に獣の足の跡

草加市

○第4回奥の細道文学賞表彰記念講演会
●3月25日(日)、午後1時~3時
●草加市文化会館(松原団地駅東口下車徒歩5分)
●「旅」をテーマとした文学作品の表彰式と大岡信さん(詩人)による記念講演会「芭蕉の臨終」
●はがきまたはFAX(住所、氏名、電話番号を記入)で、〒340-8550草加市高砂1-1-1草加市コミュニティ・文化課へ
●草加市コミュニティ・文化課 ☎22-0151、FAX24-8672

三郷市

○ファミリーコンサート&忍たま乱太郎ショー
●3月25日(日)、①午前10時30分②午後2時
●三郷市文化会館(三郷駅北口徒歩13分)
●大人1,500円、子ども1,000円(全席自由)
●三郷市文化会館チケットサービス ☎58-9900

行ってみいたいな
となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。



吉川市

○児童館ワンダーランドのプラネタリウム
●①第1・第3土曜日、午後3時~3時40分②第2・第4土曜日・日曜・祝日、午前11時~11時40分・午後3時~3時40分※毎週月曜日休館(臨時休館あり)
●吉川市児童館ワンダーランド(吉川駅徒歩10分)
●200円
●3歳児未満の乳幼児はご遠慮ください。
●吉川市児童館ワンダーランド ☎81-6811

松伏町

○春休み子ども映画会「トイ・ストーリー2」
●3月24日(土)、午前10時(9時30分開場)
●田園ホール・エローラ(北越谷駅東口から「エローラ」行きバスで中央公民館前下車)
●無料※入場整理券が必要(中央公民館、教育委員会などで配布)
●松伏町教育委員会生涯学習課 ☎91-1873

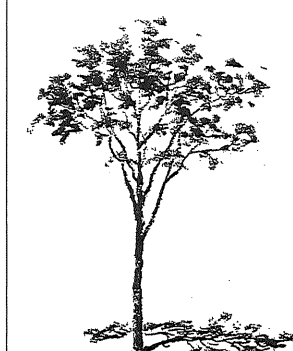
越谷市

○第1回越谷市美術展覧会
●3月14日(水)~18日(日)、午前10時~午後7時(18日は午後4時まで)
●越谷市中央市民会館(越谷駅東口下車徒歩7分)
●市民の方による日本画・洋画・彫刻などの作品展
●無料
●越谷市教育委員会社会教育課 ☎63-9283

郷土の歴史 366

八潮の地名考

伊勢野の地名
その式



大字伊勢野 明治22年(1889)から現在に至る八潮地域の大字名。近世の伊勢野村が、明治22年(1889)の町村制の実施に伴い、南埼玉郡潮止村の大字となり現在に至る。

小名・字名 近世後期の『新編武蔵風土記稿』の小名(集落名)は、上・下・谷中が記される。昭和54年(1979)『第二次八潮の民俗調査』による伊勢野のムラ組の採録は、上ズシ(厨子)・下ズシ・谷中ズシ

で、それぞれのムラ組(厨子)ごとに上組稲荷神社・下組稲荷神社、谷中組稲荷神社(明治8年「村誌取調書」)などの厨子社を祭祀して来た。その稲荷社は、明治42年(1909)に天神神社へ合祀した(明治12年「社寺明細帳」)。

地租改正ごろの明治8年(1875)「村誌取調書」による字地名は、蔵後、浅間前、小畝町、仕込、助九、あらた、稗田、道面、八反野、谷中、根通り、上通、下通、島内、堤外など

が記される。各村から提出されて纏められた『武蔵国郡村誌』の字地名は、蔵後小畝町、助九仕込、道面根通、堤外耕地の五字が記される。その後、潮止村耕地整理にともない昭和12年(1937)ごろに根通り、助九、堤外の三字となり、現在に至る。

蔵後 蔵後は、伊勢野神社の荘園蔵があつたことに因む地名と伝え、「東北字大瀬道ヲ界シ、西南七ヶ村恵水路ヲ界ス」(明治8年「村誌取調書」以下同)の区域で、「武蔵国郡村誌」では小畝町と同一地名とし蔵後小畝町と記される。

浅間前 中川沿いの浅間社の社前に因む地名で、「東北三ヶ村恵水路ヲ界シ、西南八ヶ村耕地へ入会ス」る区域。

小畝町 小面積の水田が分布することとに因む地名で、「東北八ヶ村恵水路ヲ界シ、西南八ヶ村耕地へ入会ス」る区域。

仕込 苗の育成(苗間)に因む地名で、「東北八ヶ村恵水路ヲ界シ、西南八ヶ村耕地へ入会ス」る区域。

近世から現在に至るムラ組でもあらた、あらたは、新しい開発に因む地名で、「東西南北大瀬村耕地二入会ス」る区域。

稗田 稗を耕作する水田に因む地名で、「東北八ヶ村恵水路二至リ、西南八ヶ村耕地二入会ス」る区域。

道面 主要な道に面する地名で、「東北三ヶ村恵水路ヲ界シ、南八ヶ村耕地二入会ス」る区域。

八反野 八反野は、八反の帆掛け船が沈没したことに因む地名と言われ、「東北八ヶ村耕地二入会シ、西南三ヶ村恵水路ヲ界ス」る区域。

谷中 ヤツカラ(茅原の意)の谷田(やつだ)の中心に地名で、「東北八ヶ村耕地二入会シ、西南八ヶ村耕地二入会ス」る区域。

川崎村二接、西南三ヶ村恵水路二至リ、大瀬村耕地二入会ス」る区域。

文芸欄

詩

朝顔 伊草 中山 靖子

朝顔が咲きはじめるころ
兄が老いた母を連れてきた
夏の間母を預ってほしいというのだ
その後、母の妹が突然亡くなった
母は皺の顔をぐちゃぐちゃにして
犬の遠吠えのような声で泣いた
母は七人姉妹の真ん中だった
姉も妹も次々と亡くなり
一人残った妹にも死なれたのだ
たった一人になってしまった老母は
それを受け入れることができないで
今日も郵便受けを覗いている
くるはずのない妹からの便りを
待っているのだ
紫の朝顔が色を失ってしぼんだ

短歌

鶴ヶ曾根 安藤 知晃

「虐待死」大活字に湧く怒り
鬼の親類むねとなりぬ
柳之宮 栗原 幸子
白梅は清く咲けり庭の辺に
日溜りうらウグイスの鳴く
南後谷 杉村 セツ
ひなまつり亡母の好みしさくらもち
供えて偲ぶ過ぎ去りし日
八潮七 深井 健
まだ若き友逝きにけりその顔を
拝みて頬に手を触れてみぬ
八潮七 佐藤 千和
確定申告を済ませて軽心地して
見上げし桜のほころびを待つ
南川崎 小野塚喜代子
青き空はるかそびゆる立山連峯
車窓より見ゆ雪の輝き

呉美代選

市民の皆さんの投稿をお待ちしています。

【応募先】〒340-8588 八潮市中央二二一
八潮市役所広聴広報課広聴広報係

俳句

南川崎 伊本 則子

春の陽も仲間入りして園児らは
卒園練習緊張の顔
中央一 猪瀬 利助
我は見とれてふと立ち止る
大曾根 長谷部由美
三味の音は舞台の前の下ざらい
正座して聴く亡母と愛猫
鶴ヶ曾根 斎藤 道子
陽の射して桜の蕾うつすらと
紅のさしたる気配を覚ゆ
中央四 根岸フミ子
ひな祭り雅楽の世界に魅せられぬ
琵琶の音色は春を呼ぶなり
柳之宮 平沼 良子
性別は生まれ出るまで聞かぬという
臨月近き娘に春陽差す
木曾根 高谷 多門
ふるさは吹雪く木原も雪解けて
リンゴの花芽はやふくらみぬ

二丁目 平井 石龍

初詣で仁王の裾の磨売り
ランドセル母が見送る梅の門
木曾根 古根 昌明
解かれゆく舳も新し初船出
緑町三 岩田 苑江
探梅に黒髪少し冷えにけり
緑町五 藤波 ふみ
波の花岩に咲かせて春の海
八潮七 茂村 つ留
二人居て行く先もなき春の雨
南後谷 小田三重子
話し声つきぬけて来る冬木立
八條 杉村 知香
故郷の岸辺偲ぶや芽吹くころ
鶴ヶ曾根 平本 愛子
商店街ゆれる看板春一番

八潮六 藤崎 政子

凍てし夜のしじま切り裂く孫の声
大曾根 小倉 花子
一年生夢入れ背負うランドセル
坂 沼野 あい
食む程に甘味の残る波稗草
大曾根 横山 英道
枯葦の原を往き交ふ群雀
八潮七 小倉 孝義
車音にも春の訪れ響きけり
八潮七 石井 忠枝
潮騒を遠くに聞いて春の宿
緑町五 村田 恭子
春浅き港みらいの夜景かな
中央三 宇津木勝子
公園の柳の芽にも春の雨
緑町五 加藤 龍子
地中より春押し上げて土筆かな
鶴ヶ曾根 斎藤 初子
倒木の芽吹きうながす滝の音
庭先に首輪忘れて恋の猫

三郷市

- 第6回三郷市民演劇祭
- 4月28日(土)・29日(祝)、午前11時開演
- 三郷市鷹野文化センター(三郷駅から金町駅行きバスで「八木郷橋」下車徒歩3分)
- 三郷市内の高校演劇部など8団体による公演
- 300人(先着順・無料)
- 三郷市鷹野文化センター ☎56-9010

吉川市

- よしかわの「食と緑とフラワー展」
- 5月27日(日)、午前10時～午後3時
- 吉川市民交流センターおあしす＝花しょうぶ展、さつき展、吉川産農産物・観光物産品の販売、永田公園＝花のなんでも無料相談コーナー、フリーマーケット(吉川駅北口から吉川きよみ野行きバスで「おあしす前」下車)
- 吉川市農政課 ☎82-9482

行ってみたいな
となりまち

近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。



越谷市

- サンシティクラシック・ティータイムコンサート「パーカッション・ミュージアム」
- ～菅原淳とその仲間たち～
- 4月21日(土)、午後2時開演
- サンシティ・小ホール
- G線上のアリア、マリンバだけによるアンサンブルほか※休憩時間にコーヒー・紅茶をサービス
- 指定席一般3,500円・学生2,500円、自由席一般3,000円・学生2,000円
- サンシティ 越谷市民ホール ☎85-1112

草加市

- 草加地場産業フェア
- 4月28日(土)・29日(祝)、午前10時～午後4時
- 草加市文化会館内伝統産業展示室(松原団地駅東口下車徒歩5分)
- せんべい・ゆかた・皮革の展示・販売、せんべい手焼き体験・ふきん染め体験など
- 草加市商工課 ☎22-0151 ☎3661

松伏町

- 上野の森プラスコンサート
- 4月21日(土)、午後4時開演
- 田園ホール・エローラ(北越谷駅東口からエローラ行きバスで「中央公民館前」下車)
- 爆笑と感動を生むスーパープラス人情一座。曲目＝聖者が町にやってくる、サウンド・オブ・ミュージックメドレー、ハンガリー舞曲第5番ほか
- 一般2,000円、高校生以下無料(全席指定)
- 松伏町文化振興事業団 ☎92-1001